

庄川扇状地水環境検討委員会の設立の目的

設立の目的

庄川流域並びに庄川扇状地では、古くより河川水や地下水の利用が盛んに行われてきました。

近年、社会活動の高度化、広域化に伴い水利用は増大しており、今後より安定的な供給・利用の体制を計画的に構築していくことが求められております。

しかし、河川水や地下水は自然物であることから、不確定・不安定な面を常に持ち合わせております。とくに地下水については、その機構そのものが複雑であり、地域の水環境をより安定的に、かつ発展させていくためには、これらの基礎的な見知を得ることが不可欠であります。

このため、国土交通省北陸地方整備局富山工事事務所では、庄川扇状地の水環境について調査検討し、適切な水環境を構築することを目的とし、「庄川扇状地水環境検討委員会」を設置するものです。

本委員会は水環境に精通した学識者５名で構成されており、平成13年度～平成14年度にかけて、通年を通した庄川扇状地全体の地下水モニタリングを行い、地下水流動機構の解明と保全・適正利用に係る基本事項の提案を検討することを目的といたします。